

令和4年度

# 金山町当初予算の概要

(報道・公表用)

令和4年2月28日公表

## 1. 当初予算テーマ

リ・スタート～希望あふれる持続可能なまちづくりへ～

## 2. 予算編成基本方針

町民が将来の金山町に希望を持って、より良い未来が実現されるように「早期の財政健全化」と「重要施策の実行」を両立するべく、予算を編成した。

効果を重視した改善に継続して取り組んでいるが、収益事業に対する運営費補てんなどを主因に、経常的な経費が一般財源に対して過剰な状態となっている。現在の財源不足が続いた場合には、基金残高が減少し、人口規模の縮小や地方交付税の見直しからも、令和11年度には一般会計が赤字になることも試算している。

令和4年度は、新たな町政運営へ向けて進み始める「転換の年」と捉えている。財政状況に大きく影響する事業を中心に、安定した財政運営に繋がる方針を示す必要がある。グリーンバレー神室の運営を始めとする諸課題に対して、上半期に具体的解決策を決定し、持続可能なまちづくりへ大きく舵を切りたい。

当面の財政見通しは厳しいが、行政は未来の町民の暮らしを保障する必要があり、町民にとって「住んで良し」の町でなければならない。今こそ「町民のためになる事業」を判断することが求められている。「なんとかなる」と楽観的では状況は変わらず、「何をしても無駄」と悲観的になっても未来は開けない。

問題を先送りすることなく、揺るぎない財政基盤を確立する節目となるよう、中長期的なビジョンと将来の町の姿を示す年度としたい。

## 3. 一般会計予算の規模

(1) 予算総額 40億300万円〔前年度比+2億700万円(+5.5%)〕

### (2) 主なハード事業

老人福祉センターやくし苑大規模改修事業	6,143 万円
橋りょう補修事業(焼山橋)	3,774 万円
除雪ロータリ(9号車)更新事業	3,333 万円
金山小学校エアコン設置事業	3,073 万円
林業成長産業化総合対策補助金	1,500 万円
町道2路線測量設計・用地購入事業	1,620 万円
田茂沢・蒲沢地区基盤整備事業測量調査等業務	620 万円

### (3) 主なソフト事業

町立金山診療所運営支援(一般会計からの運営費等支援)	1億1,959 万円
グリーンバレー神室一体運営	9,461 万円
水道事業経営安定補助金	3,000 万円
育児支援事業(出産祝金、家庭育児支援金など)	2,391 万円
飲食店等割引キャンペーン補助金	1,000 万円
健康づくり推進事業(減塩対策など)	682 万円
学力向上対策事業(イザベラ塾の開催など)	625 万円

#### 4. 歳入・歳出の主な増減内容〔項目毎の予算額等は内示会資料参照〕

##### (1) 歳入

項 目	増 減
<b>1. 町税</b>	<b>▲ 0.7 %</b>
個人住民税	▲ 194 万円
固定資産税	▲ 141 万円
<b>2. 地方譲与税</b>	<b>+10.1 %</b>
森林環境譲与税	+402 万円
<b>3. 地方交付税</b>	<b>+3.2 %</b>
普通交付税	+6,834 万円
特別交付税	前年度同額
<b>4. 分担金及び負担金</b>	<b>▲ 48.8 %</b>
農業競争力強化農地整備事業費分担金	▲58 万円
<b>5. 使用料及び手数料</b>	<b>▲ 2.6 %</b>
デマンド交通使用料	+50 万円
神室スキー場使用料	▲ 150 万円
<b>6. 国庫支出金</b>	<b>20.1 %</b>
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	+5,000 万円
道路メンテナンス事業補助金(橋りょう)	+1,850 万円
<b>7. 県支出金</b>	<b>▲ 10.5 %</b>
農業次世代人材投資事業費補助金	+850 万円
農地集積・集約化対策事業費補助金	▲ 2,740 万円
<b>8. 寄附金</b>	<b>+42.9 %</b>
ふるさと寄附	+3,000 万円
<b>9. 繰入金</b>	<b>8,811.1 %</b>
財政運営基金繰入金	+6,100 万円
資産活性基金	+2,720 万円
かねやま応援基金繰入金	+121 万円
<b>10. 諸収入</b>	<b>+6.0 %</b>
新庄金山道路事業に伴う光ケーブル等移設補償費	+664 万円
デジタル基盤改革支援補助金	+513 万円
みすぎ荘看護師派遣負担金	▲ 600 万円
<b>11. 町債</b>	<b>▲ 4.8 %</b>
道路橋りょう等整備事業	+6,470 万円
臨時財政対策債	▲ 7,960 万円

## (2) 歳出

項 目	増 減
<b>1. 義務的経費</b>	<b>▲ 0.6 %</b>
(人件費)	▲ 260 万円
正職員人件費▲321万円 会計年度任用職員人件費+463万円	
(扶助費)	▲ 1,229 万円
子どものための教育・保育給付費負担金▲2,401万円	
障害者総合支援給付費+1,984万円	
(公債費)	+521 万円
<b>2. 一般行政費</b>	<b>+8.1 %</b>
(物件費)	+7,403 万円
新型コロナウイルスワクチン接種委託料+1,872万円	
行政手続きオンライン化対応業務委託料+1,028万円	
ふるさと納税業務委託料+770万円	
(維持補修費)	+1,142 万円
町道維持修繕委託料+550万円 除雪作業員人件費+243万円	
(補助費)	+1,059 万円
水道事業経営安定補助金(基準外)+3,000万円	
飲食店等割引キャンペーン費補助金+1,000万円	
(積立金)	+1,483 万円
かねやま応援基金積立金+1,207万円 財政運営基金積立金323万円	
<b>3. 投資的事業</b>	<b>+36.4 %</b>
(補助事業費)	▲ 2,336 万円
橋りょう補修工事(焼山橋)+3,774万円	
林業成長産業化総合対策補助金▲3,075万円	
(単独事業費)	+1億2,149 万円
老人福祉センターやくし苑大規模改修工事+6,143万円	
除雪ロータリ更新(9号車)+3,333万円	
(災害復旧事業費)	前年度同額
<b>4. 繰出金</b>	<b>+1.3 %</b>
国民健康保険(直診)特別会計繰出金▲751万円(運営費分、公債費等)	
介護保険特別会計繰出金+930万円	
農業集落排水事業特別会計繰出金▲628万円	
公共下水道事業特別会計繰出金+1,350万円	+666 万円

## 5. 特別会計予算

### (1) 予算規模

水道事業会計の資本的収支予算を除く特別会計全体の予算合計（6会計）

予算総額 18億6,370万円〔前年度比+2億361万円（▲12.3%）〕

### (2) 会計別の増減内容〔項目毎の予算額等は内示会資料参照〕

1. 国民健康保険特別会計(直診勘定)	2億3,130万円	(+2,340万円 +11.3%)
設置型デジタル式汎用X線透視診断装置の更新		
2. 後期高齢者医療特別会計	7,070万円	(+374万円 +5.6%)
保険料負担金(特別徴収・普通徴収)の増額		
3. 介護保険特別会計	9億2,510万円	(+247万円 +0.3%)
職員人件費の増額		
4. 農業集落排水事業特別会計	1億6,370万円	(+1億250万円 +167.5%)
明安処理施設改修工事費の増額		
5. 公共下水道事業特別会計	2億7,780万円	(+7,470万円 +36.8%)
浄化センター電気設備工事費の増額		
6. 水道事業会計	(収益的収支) 1億9,510万円	(▲320万円 ▲1.6%)
	(資本的収支) 8,115万円	(▲3,133万円 ▲27.9%)
(収益的収支) 企業債利息、減価償却費の減額		
(資本的収支) 排水管更新・移設工事費の減額		

## 6. 主な財政指標等の見込み

### (1) 令和3年度決算見込み

項 目	数 値	増 減
経常収支比率	96.1%	▲0.5%
実質公債費比率(R元～R3の3年平均)	11.3%	+1.0%
将来負担比率	42.0%	+0.3%
一般会計起債残高	39億1,839万円	▲2億5,432万円
全会計起債残高	52億5,362万円	▲2億6,975万円

### (2) 令和4年度決算見込み

項 目	数 値	増 減
経常収支比率	100.0%	+3.9%
実質公債費比率(R2～R4の3年平均)	11.4%	+0.1%
将来負担比率	52.0%	+10.0%
一般会計起債残高	37億 279万円	▲2億1,560万円
全会計起債残高	51億6,925万円	▲8,437万円